

# 第30回やまがた農村フォトコンテスト

## ふるさとを探そう あなたが伝えたい

### 山形の水・土・里

山形の農村をテーマに、四季、風景、働く喜びなど

幅広く農村生活をとらえたものを募集テーマに第30回やまがた農村フォトコンテストが開催された。古来、培われてきた農業に関する文化、民俗行事、そして村の原風景の魅力を伝える写真を通じて、農業と農村の魅力や価値を共有することを目的としている。

一般の部と学生の部の2部門に分かれており、小学生からお年寄りまで幅広い層からの応募がある。また今回、30回を記念して「農業農村のかがやく女性大賞」が新設された。

次回の応募は6月から始まる。詳しくは左下QRコードから確認してほしい。

第30回一般の部  
最優秀賞「豊穡の顔」  
撮影場所：南陽市  
根っこのついたジャガイモを手にした女性の満面の笑顔を捉えた、心温まる素敵な作品。



Take photo



撮影の  
ポイント

山形県写真連盟会長の阿部直美なおみさん

は、会長になった平成24年の第17

回から審査委員長を務めていただいている。今回は審査のポイントを中心に

お話を伺った。

私が  
教えます。



審査委員長  
阿部 直美 さん

## 1. 人物を入れる

風景だけの写真ではほかの人と同じような写真になりがち。人物を被写体にする事で、その人にしか撮れない写真になる。

## 2. プリントして見る

画面上で見る写真と印刷した写真では印象が変わる場合がある。撮った写真は印刷して見てみよう。さらにほかの人にも見てもらうことで、新たな気づきがあるはず。

### 第30回学生の部

#### 最優秀賞「もろこし前歯」▶

小学校4年生が撮影。トウモロコシをおいしそうにほおぼっている自然な表情を捉えたほのぼのとした作品。



撮影場所：朝日町



### 第30回記念賞

#### 農業農村のかがやく女性大賞「草刈り女子」

女性の明るい笑顔が他作品を圧倒。ストロボを軽く当て、女性の表情をクリアに表現した素晴らしい作品。



撮影場所：村山市

農村に行つて写真を撮ってみよう！



最優秀賞は  
なんとスマホで撮影！

今回最優秀賞を受賞した「豊穰の顔」(右ページ)はスマホで撮影したもの。まずは農村に行つて写真を撮ってみよう。いい写真が撮れたらフォトコンテストにぜひ応募を！

やまがた農村フォトコンテストの応募はこちらから。※来年度の募集は6月ころからの予定→

